

生コンクリート接着型止水板

キッスシーラー®

あらゆる
コンクリート
打継部に適応する
止水材!!

キッスシーラーは、未加硫ブチルゴムと長鎖の飽和高分子、活性化樹脂を主成分とした柔軟性および粘着性に優れた自着性の成形止水材です。キッスシーラー中の**活性基**と生コンクリート中の**金属酸化物**とが反応して、生コンクリートの硬化と共にコンクリートと接着し、止水効果を発揮します。

特 長

硬化反応と共にコンクリートと接着!

主に、キッスシーラー中の活性基(カルボキシル基)と生コンクリート中の金属酸化物が、化学結合を形成して接着します。更には、物理的投錨効果も合わせて完全な接着性を発揮します。

コンクリートの挙動に追従!

キッスシーラーは、長期的に柔軟性を有し、コンクリートの膨張収縮、不等変位に追従して止水効果を持続します。

優れた耐候性!

キッスシーラーは、ブチルゴムと飽和高分子を主成分としているため、化学構造的に安定であり優れた耐候性を有します。

接続が簡単!

塩ビ止水板、ゴム止水板等の接合は、熱融着、加硫接着等の作業を必要としますが、キッスシーラーは、重ね合わせて圧着するだけで接合出来ます。

施工性が良好!

- ・Pタイプ(鉄板芯材入り)は、両端部に穴を設けているため、番線等によって仮止めが容易です。
- ・Pタイプは、鉄板芯材が入っているため現場に合わせて折り曲げ加工が出来、又、生コンクリートの打設圧に対して曲がる事なく確実な施工が出来ます。
- ・Mタイプは、片面をプライマーを用いて硬化コンクリート・鉄等に貼り付けて使用し、特にPタイプの使用が困難な場合等に適します。



原子力発電所コンクリートスラブ打継面にPタイプ使用▶

用 途

土木関係

- トンネル2次覆工打継部(アーチ同士、側壁同士、アーチ～側壁、側壁～インバート打継部等)。
- 電力関係構造物コンクリート打継部(原子力発電所、水力、火力発電所、導排水路等)。
- ダム(監査廊打継部、導水路打継部等)。
- 共同溝コンクリート打継部(ボックスカルバート等)。
- 農工業用水路(インバート同志打継部、L型ブロック～インバート打継部等)。
- シールド2次覆工打継部。
- 連続地中構造壁のコンクリート水平打継部

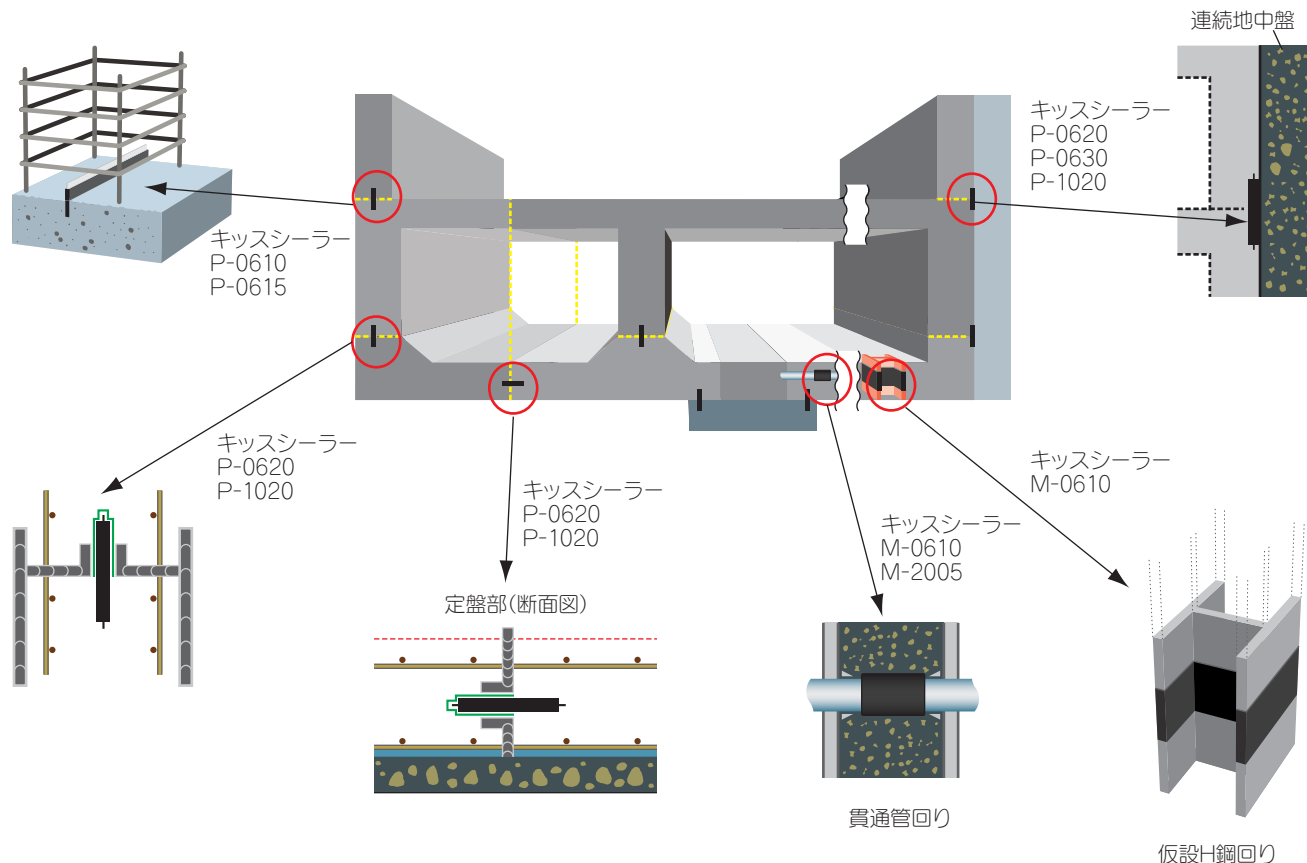
- 耐圧版(底版)のコンクリート鉛直打継部
- 二次製品コンクリートの外周打継部
- 上下水処理場、貯水場、プール、堤防、護岸、その他コンクリート打継部の止水。
- コンクリート舗装用成形目地材。

建築関係

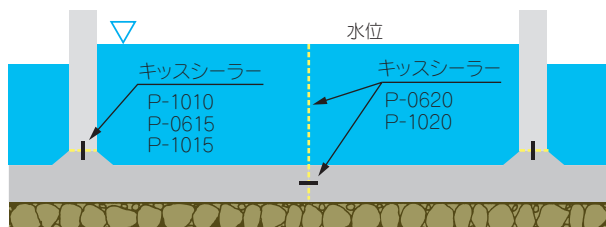
- RCビル各階打継部、屋上目地、ベランダ打継部、エキスパンション目地、地下ピット打継部等。
- 仮設H鋼～コンクリート打継部、貫通管～コンクリート打継部、その他コンクリート打継部の止水。

コンクリート打継部止水標準施工例

●一般構造物関係



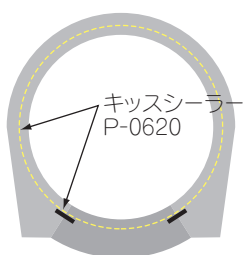
●上下水道関係(水槽例)



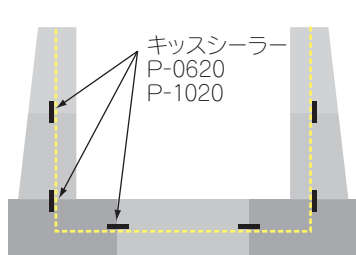
地下深さとキッシーラーの適用寸法幅 (mm)			
深さ(m)	区分	標準工法 の場合	外型枠取付 工法の場合
地上	0以上	70	—
地下	1～2	100	200
"	2～5	100～150	200
"	5～10	150～200	200
"	10～	200～300	200～300

●ダム関係

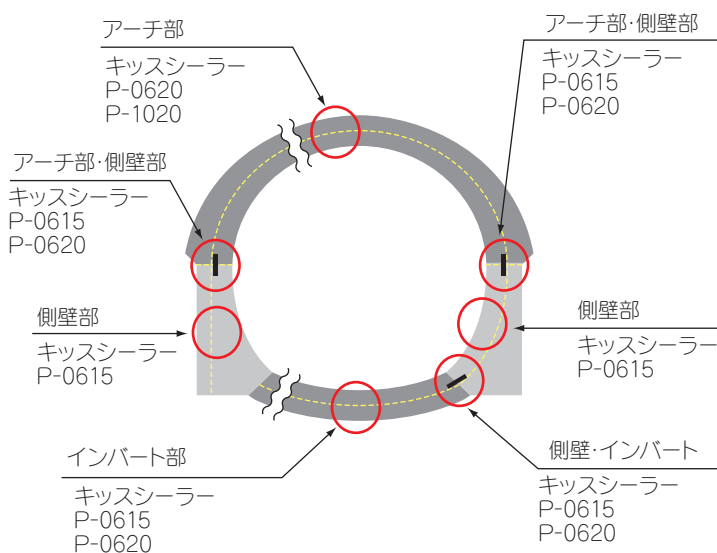
●導水路例



●供水吐例



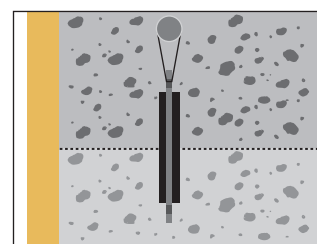
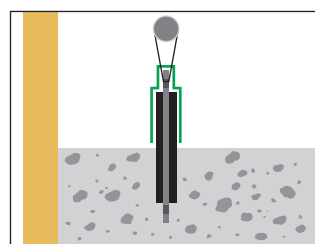
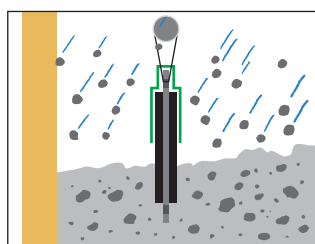
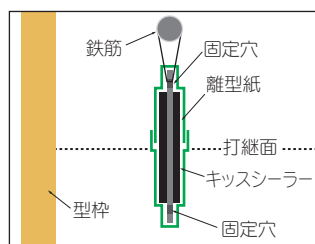
●トンネル関係



施工方法

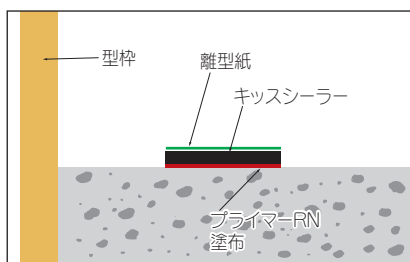
●Pタイプの場合(標準例)

- 1) 両端に設けてある固定穴に番線などを通して鉄筋に固定する。
- 2) 生コン打設直前に離型紙を半分剥ぎ取り生コンを打設。
- 3) 1次コンクリートを打設後コンクリートを養生する。
- 4) 残りの離型紙を剥ぎ取り2次コンクリートを打設する。

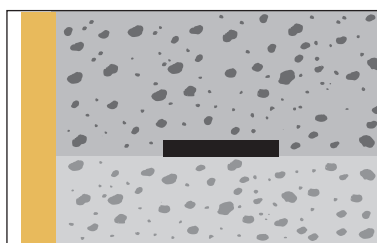


●Mタイプの場合(標準例)

- 1) プライマー塗布
・乾燥時: プライマーRN(塗布量0.3~0.4kg/m²)
・湿潤時: ボンドトップWG(A)又はエポbond1CH(塗布量1.0~1.5kg/m²)
プライマー塗布後に片面の離型紙を剥ぎ取る。
不陸調整の場合はボンドトップWG(A)を使用する。



- 2) 上面の離型紙を剥ぎ取りコンクリートを打設する。



キスシーラーの接続(継目処理)は斜め切断した端部を突き合わせて接続する(標準例)。



◀土間コンと鉄柱のエキスパンションジョイントに使用

施工上の注意



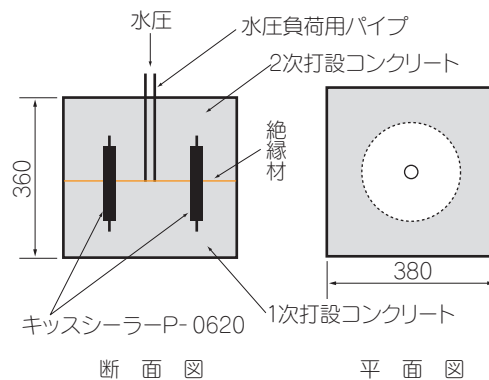
- (1) キスシーラーを取り扱う場合は、保護手袋を使用して下さい。
離型紙は生コン打設直前に剥して下さい。
- (2) キスシーラーPタイプは、鉄板芯材を使用しております。鉄板の角及び端部に触れるとケガをする恐れがありますので注意して下さい。
- (3) Pタイプの接続は10cm重ね合わせて良く圧着して下さい。
- (4) Mタイプの接続は原則的に隙間が出来ないように突き合わせて下さい。
- (5) 製品を保管する際には、直射日光の当たらない屋内で保管して下さい。積み重ねる場合には、梱包箱記載以上に積まないで下さい。
- (6) 製品設置後からコンクリート埋設されるまでの暴露期間が長期となる場合、積雪等の影響で変形することがありますので、養生状態に注意して下さい。

一般物性

試験項目	単位	規格値※	試験方法
不揮発分	%	99以上	JIS K 6833に準ず
針入度	10 ⁻¹ mm	85±15	JIS K 2207に準ず
抗張力	N/mm ²	0.1以上	JIS K 6251に準ず
伸び	%	1200以上	〃
生コンクリートとの接着力	N/mm ²	0.10以上 (凝集破壊)	社内試験法
吸水率	%	0.3以下	7日間23℃水中浸漬
柔軟温度	℃	-50以下	JIS K 6773に準ず
耐候性	—	極端な異常のない事	ウェザーマター480h照射
耐水圧性	N/mm ²	1.0以上	P-0620使用(右図参照)
耐薬品性	3%塩酸水溶液	異常のない事	23℃7日間浸漬
	3%苛性ソーダ水溶液	異常のない事	
	1000ppm塩素水溶液	異常のない事	

※アオイ化学工業(株)社内規格

耐水圧性試験体

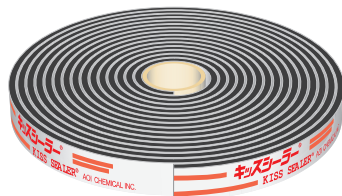


代表的品番表

形状	品種	品番	形状寸法(mm)	ケース入数
	キスシーラーP	P-0610	6×100	10m巻×1本/ケース
		P-0615	6×150	
		P-0620	6×200	
		P-1010	10×100	
		P-1015	10×150	
		P-1020	10×200	
		P-1030	10×300	5m巻×1本/ケース
	キスシーラーM	M-0305	3×50	20m巻×4本/ケース
		M-0620	6×200	10m巻×1本/ケース
		M-1004	10×40	
		M-1010	10×100	
		M-1015	10×150	
		M-1504	15×40	
		M-2005	20×50	8m巻×1本/ケース

※上記以外のサイズをご希望の場合はご相談下さい。

荷 姿



キスシーラーM

アオイ化学工業株式会社

本社／〒731-0141 広島市安佐南区相田1丁目1番26号 TEL(082)877-1341(代)
 http://www.aoi-chemical.co.jp FAX(082)879-7260

東北支店／TEL(022)384-3171(代) FAX(022)382-1260	広島工場／TEL(0826)46-3511(代) FAX(0826)46-2843
関東支店／TEL(03)3993-9311(代) FAX(03)3993-9315	埼玉工場／TEL(048)584-2511(代) FAX(048)584-2510
北陸支店／TEL(025)280-0131(代) FAX(025)281-8338	北京支社／TEL +86(10)-65584184 アオイテクノサービス(株)／TEL(082)877-0017(代)
中部支店／TEL(052)332-5611(代) FAX(052)332-5615	アオイコーポレーション(株)／TEL(082)877-7336(代)
近畿支店／TEL(06)6631-2060(代) FAX(06)6631-2170	アオイドリーム(株)／TEL(082)831-1345(代)
中四国支店／TEL(082)877-7171(代) FAX(082)877-5280	台湾／奥徳化学建材股份有限公司 シンガポール／AOI KAGAKU(SINGAPORE) PTE.LTD.
九州支店／TEL(092)623-5556(代) FAX(092)623-5559	TEL(65)6659-1137(代)